

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 竹原孝剛

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視察議員	竹原孝剛			
期 間	2019 年 11月 10日（日）13:30時~16:00			
視 察 先	みよしまちづくりセンター			
視 察 用 務	市民講座「こどたちの未来」ひとり・ひとりが輝くために			
視察先対応者				
概要及び所見	<p>講師 前川喜平・元文部科学省事務次官</p> <p>・教育行政のあり方について 第一に「教育行政とは人間の、人間による、人間のための行政である」常に人間はいかにあるか問い続けなくてはならない。 第二に「教育行政は助け、励まし、支える行政である」ひとりの人間を「たすけ・はげまし・ささえる」ことこれが教育行政の本質ではないか。 第三に「教育行政とは、現場から出発して現場に帰着する行政である」一番大事な物は現場ににしかないそこで学んでいる人たち、教えているひとたちの、人間的ふれあいの中にしかに教育はない。中央で勝手に考え、押しつけるのではなく現場にある課題を解決しなくてはならない。</p> <p>・なぜ証言をしたのか。 あるべき行政の姿が歪められ、国家権力の私物化が起きていた、国民の税金を使って一部の人を儲けさせようようなことがあればたださなくてはならないし「総理のご意向」だとする文書が存在することを、「あったものを無かったとにできない」民主主義を維持していくことは大事。</p>			